

# Sharing @ Nature Life



設置店募集!

2025



「自然が好き」で世界を変える——  
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は  
ネイチャーゲームをはじめとする  
シェアリングネイチャー活動を通して  
「自然が好き」な人を増やし  
人が自然を尊重し共生していく社会の実現を  
目指しています。

シェアリングネイチャーライフ

Vol. 45

“センス・オブ・ワンダー”な写真家

## 森本二太郎さんに 会いたくて

写真家  
もりもとに たろう  
森本二太郎

Nature Game No.057

心のカメラで自然を撮る(カメラゲーム)

Nature Game No.145

自然をモチーフに作る私のマーク(自然の紋)

### Contents

- 特集/森本二太郎さんに会いたくて… p2
- 海を活かした学びのSTEAM化に向けて… p8
- 自然と遊ぼう! ネイチャーゲーム(自然の紋)… p10



「自然が好き」で世界を変える  
公益社団法人  
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツクジ



スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています

深く濃い緑を背に、やわらかく頭をもたげた薄桃色の花――。

『センス・オブ・ワンダー』を手にしたとき、表紙の写真にしばらく目を留めた人も多いはず。ページを開くと、言葉の余韻をさらに深める数々の写真。

これらすべては、森本二太郎さんが撮影したもの。

シャッターを切る瞬間、の空気さえも感じられる自然写真は、どのようにして捉えられたものなのか。

自然へのまなざしと、自然とともにある現在の暮らしを伺いました。

「ルピナスはまだこれからだね。ほら、ここにも葉があるでしょ？」  
「これから鳥たちが集つくりして、にぎやかになりますよ」  
桃や白い花を咲かせたクラブアツプル、ジューンベリーといった果樹の緑。芝生の上にかわいらしい色を添えるスイセン、チューリップ、ムスカリ、デイジー、オドリコソウの花々。一見無造作なようで、それぞれが調和している庭。  
森本二太郎さんと妻の佳代さんが、ゆつくりと案内してくれるその庭の名前は、「ルピナス・ヴァレー」。その名の通り5月の終わり頃になると色とりどりのルピナスが咲く住まいは、元は長年放置された荒地地だったそうです。  
バーバラ・クーニーの絵本『ルピナスさん 小さなおばあさんのお話』（ほるぶ出版）に描かれた世界

を作りたいと願っていた佳代さんが、この場所ならその夢を叶えられると即決。  
「初めは、本当にここに!? っ」と当時をふりかえり微笑む二太郎さん。佳代さんの直感と熱い想いに寄り添い、息子の潤太さんと3人で段々になっていった敷地をなだらかに均すことから始め、17年かけて木や花を少しずつ植えて丹精し、今の姿になったのです。  
山小屋を思わせる母屋を設計したのは、なんと当時15歳の潤太さん。だれかに言われるのではなく、ひとり地元の木材業者と交渉して必要な材を調達し、加工や組み上げも二太郎さんとともにやり遂げたそうです。窓が多く、家のどこからでも外の自然を眺めることができる造りも、家族みんなの願いが込められていること。庭と住まいが完成するまでの歩みをお話するうちに、家族の手で造り上げたからこそその愛おしさが、にじみ出ていると感じます。

“センス・オブ・ワンダー”な写真家

# 森本二太郎さんに 会いたくて

特集 interview



写真家  
もりもと に たろう  
森本二太郎

東京都生まれ。国際基督教大学(ICU)卒業後、敬和学園高校で15年間教師を勤めたのち、フリーの写真家に。レイチェル・カーソン著『センス・オブ・ワンダー』(上遠恵子訳/新潮社)など、書籍の表紙や挿画となる写真を多数撮影。2008年、家族で岡山県真庭郡新庄村(しんじょうそん)に移住し、写真活動を続けている。

取材文/茂木奈穂子

イラスト/いのうえみさお

アトリエでの  
森本二太郎さん



お話し上手な  
妻の佳代さん



風景に溶け込む、さまざまな花々が咲き続けるルピナス・ヴァレー。迎えたい草花はまだまだたくさんあるのだとか。

母屋の薪ストーブに使う薪も庭の恵み。



「仲間に入れて」と、ときどき母屋の戸を角でコンコンたたきます。



ヤギのムーちゃん

自慢のお風呂



「おいでおいで」と二太郎さんが招いて見せてくれた浴室。庭がよく見える大きな窓がお気に入り。

どこにいても  
顔が見えるよ!

母屋の2階は、ドリームキャッチャー模様のロープでガード。遊び心いっぱいです。



二太郎さんの仕事場を兼ねたアトリエは、元からあった小屋を改修。古い電信柱が使われた趣のある建物です。



ご夫妻の  
人柄あふれる  
小さなお店

二太郎さんの写真集やポストカード、佳代さんお手製の額や置物などが並びます。



荒地に立つぼろぼろの小屋を見て移住を即決した佳代さんに、驚愕した二太郎さん。今では笑い話に。



## 今につながる 写真家としてのまなざし

二太郎さんが写真の持つ力に魅かれたのは、大学時代。土門拳さん<sup>※1</sup>の『筑豊のこどもたち』（築地書館）に衝撃を受け、独学で写真の勉強を始めたそう。“人”を撮る写真家を夢見つつも、瀬戸内海の伝道船<sup>※2</sup>、福音丸の活動を通じて関わった離島で荒れた学校を目にし、子どもたちに関わりたくて教師の道へ。

「あと少し単位を取れば卒業だったのだけど、そこから教職の単位を2年かけて取ってね。瀬戸内のどこかで教師を、と思っていたところに、縁のある宣教師夫妻が中心となって学校を設立すると聞いて、新潟の敬和学園高校に勤めることにしました」

設立に関わった校長や副校長、生徒たちは大好きだった。けれど、思い描いていた理想とのギャップを感じることもあって、思いをかき乱され、心が壊れそうになったことがあった、と教師生活をふりかえります。そして、自分を取り戻すために向かったのは山――。

「学生時代から好きな場所だったから。さんざん歩いて、山を自分のフィールドにフリーの写真家としてやっていきたいなあと思うようになったのは山――。」

りました」

やがて風景写真が評価される時流の後押しもあり、二太郎さんは教師生活に区切りをつけ、写真家として活動を始めます。

「写真の売買が成立するようになって、本当に助けられましたね。始めはとにかく売れたかった。『どんな場面でも行きます！』って、求められる写真を撮ってくる」

しかし、次第に疑問を感じ始めるように。

「僕は『山の姿』ばかりに目を向けていた。実は、森の入口からい入んな『命』に触れているのに。そこを無理やり、通り過ぎていくんですよ。頂上に行きたいからね」

自然との関わり方を見直した一つのきっかけは『センス・オブ・ワンダー』（佑学社版）との出会い。

「環境教育のイベントで話題になり、『これは読まなきゃ！』と思って、すぐに手に入れて読んでみたら、もう……。大きな自然だけじゃなく、足元にあるすべてのものに目を向けて、そのまま感じる。僕の写真の方向をガラッと変える転換点になりました」

そしてもう一つ、大きな転機が。『初めて新潟で大きい個展を開いたとき、自宅が火事になってしまった。いくつかの作品を除いて、機材も

出発になりました」

私たち人間も、風景の中にあるひとつひとつの植物も、好きなところに好きなように生まれてくるわけではない。そこでしか咲けない小さな

※1：リアリズムを追求した報道写真や寺院仏像など伝統文化を独自の視点で撮影した、日本を代表する写真家  
※2：キリスト教の伝道活動をするための船



結婚詐欺某次？

「新婚旅行から帰ってきた夜、『写真家になりたい』って言われて、結婚詐欺じゃない!?って言ったのよ」  
そんな若かりし頃のエピソードに思わず笑みがこぼれ、なごみます。

花も確かに生きている、生かされている。喪失感から見いだされた気づきが、その後の二太郎さんの写真観につながっていったのです。

## 「あっという間で一日居たい」 自然と向き合う瞬間

自然に息づく命の存在に気がつく、被写体は無限です。何が二太郎さんにシャッターを切らせるのでしょうか。

「撮りたい写真のイメージを求めている『目』はあると思うんだよね。でも、どんな場面に出会えるかは正確にはわかりっこない。予測したりしても人間の思い通りになるようなもんじゃないしね。自分でも気づかなかったものが、写真になってから見えてくることもあるし。だから、おもしろい。だから、何度も行くんですよ」

数日前、佳代さんと、カメラを持って山の頂上に咲くカタクリをめざしたものの、入口で「あっ、ここで僕、一日居たい」と動けなくなっちゃった、と笑って続ける二太郎さん。  
「向き合っちゃったら、一日そこにいるかもしれないしね。自然と、そこに居合わせた僕との間に、何か切り結ぶような激しいやりとりがあった、それをどう受け止めてシャッ

ターを切るかですよ」

思い通りにならない相手との“交感”を捉える難しさも、こう話します。

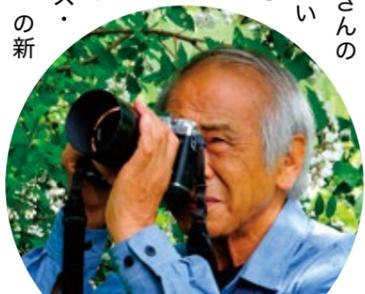
「昔のカメラは、今のように近づいたり、離れたりが瞬時にできなかったから、待ったなしの勝負。その瞬間、確かに出会った、と。それに尽きると思います」

目の前の自然を尊び、慈しむまなざし。何度も足を運んで自然の中に身を置き、向き合い、シャッターを切る。二太郎さんの写真は“生きていく瞬間の証”そのものです。

やがて二太郎さんの写真は、上遠さんの目に留まり『センス・オブ・ワンダー』の新版から縁が生まれ、今に至ります。

「まさか、声がかかるなんて思いもよらなかったから、目を大きく見開いてしまうような驚きでした。」

僕の写真が表現しているものは、大抵の人が無理なく見られるようなものばかりだし、とくに造形美とかを引き出しているものでもない。まあ、きつと曖昧な写真ですよ」  
でも、その写された「竹まい」に



瞬間を逃すまいと撮影する二太郎さん。



5月の終わり頃、満開を迎えるルピナス・ガーデン 写真：森本二郎

あなたも、子どもたちも  
自然も見る目が  
変わる!!

受講者  
満足度  
**99%**

受講者数  
延べ  
**4.5万人**

ネイチャーゲーム  
リーダー養成講座  
全国で開催中!

開催予定は  
こちら→



今年度の講座修了時に配布する  
『Sharing Nature Mook 2025 自然とわたし』  
も、幼保分野に注目! 小さな子  
どもとネイチャーゲームを楽しむ  
ポイントや事例が登場します。



- ネイチャーゲームリーダーになると **うれしい3ポイント**
- ポイント1 五感を使って、自然を深く体験することであなた自身の感性も目覚める!
  - ポイント2 自然の中で、子どもによりそい、心をつかむコツが身に付く
  - ポイント3 園庭や近所の公園での自然遊びが変わる60種類の自然遊びマニュアルが手に入る!

1本の木も、野を渡る風も、うつろう季節の中で、様々な姿を見せてくれます。そんな“ワンダー”を、ネイチャーゲームと一緒にシェアしてみませんか。

**日置光久**  
日本シェアリング  
ネイチャー協会  
代表理事  
元・文部科学省視学官

ネイチャーゲーム認定園として  
登録できる!



リーダーが2名以上  
在籍する園を認定  
しています。  
詳しくはこちら↓



子どもたちが安心感と希望をもって成長するためには、子どもたちをとりまく人・もの・自然に子どもたち自身が愛着を持つことが大切です。ネイチャーゲームを通して「自分はなんて素敵に世界に生きているんだ」、そんな気持ちを育てあげたいです。

早出幼稚園  
静岡県浜松市



保育・幼児教育をはじめ  
子どもの未来を支える  
現場のみなさんへ

子どもたちの  
“センス・オブ・ワンダー”を  
受けとめる!

自然のおもしろさや不思議に次々と出会う... 子どもたちからあふれ出る “センス・オブ・ワンダー”を まるっとぜんぶ受けとめられたら どんなに素晴らしいでしょう。ネイチャーゲームリーダーになって、自然のかけがえのない瞬間を 未来ある子どもたちとわかちあいましょ!

「集中して聞いたり、話したりすると疲れない? 庭に出てみましょう」

「集中して聞いたり、話したりすると疲れない? 庭に出てみましょう」

「庭作りをしても、覚えのないものが生えてきて、あら、こんなところには? っていう出会いがあった、すごく楽しみなよね。毎日、何があるかわからないっていう。来てくれた人にも、何が咲いているんだろう? ってゆっくり過ごしてもらいたいんだけど、みんな忙しいのね。この辺りだけで帰る人はまだまだ初心者。奥の森まで行ったら、その人は常連さんね(笑)」

レイチェル・カーソンの別荘に近い、バーバラ・クーニーが晩年を過ごした町にも、二太郎さんと佳代さんは訪れたそう。

「町の周辺に美しい自然な野原をよく見かけたのだけど、どうしてこんなになるんだらうって不思議だったのね。でも二太郎さんが『ほつたらかして、こんな美しい景色にはならないと思うよ。その風景を守りたいと思うてる人がいるから、こうして残っているんだと思う』って。

じゃあ私も、山が見えて、斜面になっただけで、こんなふうには歩けるようにして... なんて自分の願い、気持ちと



「ルピナス・ヴァレー」では、二太郎さんの写真教室や、親子向けのイベント、コンサート、ネイチャーゲームを催すこともあるそうです。二太郎さんが声をかけてくれました。そして「ルピナス・ヴァレー」での過ごし方を、ユーモア豊かに話してくれました。

「ルピナス・ヴァレー」では、二太郎さんの写真教室や、親子向けのイベント、コンサート、ネイチャーゲームを催すこともあるそうです。二太郎さんが声をかけてくれました。そして「ルピナス・ヴァレー」での過ごし方を、ユーモア豊かに話してくれました。



この地に、と決めたときに佳代さんが描き上げた夢の庭。アトリエの入口に飾られていました。

「秋だと思わず、佳代さんが先に、と笑って答えます。二太郎さんはいたずらっぽく、と軽妙なやりとり。

そつした間にも、鳥の羽ばたきや、風に波打つ木々に目を向ける二太郎さん。その姿に佳代さんは、「ここは、最大限いい写真が撮れるんです。あそここの野草は朝じゃないと光が当たらないとか、もう全部わかってる。だから、庭仕事するのにスマホは忘れても、絶対、カメラは忘れないの(笑)」

二太郎さんが最期までシャッターを切る場所になればいいなと思って、と目尻を下げて話す佳代さん。庭作りには、二太郎さんへの愛も込められているんですね。

芽が出て、蕾がふくらみ、花が咲き、葉が茂り、やがて枯れゆく営みは変わることなく続いていきます。けれど、同じ光、同じ風、同じ自然

「集中して聞いたり、話したりすると疲れない? 庭に出てみましょう」

「庭作りをしても、覚えのないものが生えてきて、あら、こんなところには? っていう出会いがあった、すごく楽しみなよね。毎日、何があるかわからないっていう。来てくれた人にも、何が咲いているんだろう? ってゆっくり過ごしてもらいたいんだけど、みんな忙しいのね。この辺りだけで帰る人はまだまだ初心者。奥の森まで行ったら、その人は常連さんね(笑)」

レイチェル・カーソンの別荘に近い、バーバラ・クーニーが晩年を過ごした町にも、二太郎さんと佳代さんは訪れたそう。

「町の周辺に美しい自然な野原をよく見かけたのだけど、どうしてこんなになるんだらうって不思議だったのね。でも二太郎さんが『ほつたらかして、こんな美しい景色にはならないと思うよ。その風景を守りたいと思うてる人がいるから、こうして残っているんだと思う』って。

じゃあ私も、山が見えて、斜面になっただけで、こんなふうには歩けるようにして... なんて自分の願い、気持ちと

NATURE GAME

〈カメラゲーム〉



自然が見せてくれるかけがえのない瞬間を心に焼き付けるネイチャーゲーム。自然と向き合う喜びを感じましょう。

一緒に庭作りをやっていけばいいのかなって」

好きな季節の話題になると、「やっぱり春がいいよね。だって長いこと、長いこと、長いこと、雪解けを待って...だから、風に舞う花びらの下にいるときって幸せだよ」と佳代さん。二太郎さんも同じですか? と聞くと、佳代さんが先に、「秋だと思わず、佳代さんが先に、と笑って答えます。二太郎さんはいたずらっぽく、と軽妙なやりとり。

そつした間にも、鳥の羽ばたきや、風に波打つ木々に目を向ける二太郎さん。その姿に佳代さんは、「ここは、最大限いい写真が撮れるんです。あそここの野草は朝じゃないと光が当たらないとか、もう全部わかってる。だから、庭仕事するのにスマホは忘れても、絶対、カメラは忘れないの(笑)」

二太郎さんが最期までシャッターを切る場所になればいいなと思って、と目尻を下げて話す佳代さん。庭作りには、二太郎さんへの愛も込められているんですね。

芽が出て、蕾がふくらみ、花が咲き、葉が茂り、やがて枯れゆく営みは変わることなく続いていきます。けれど、同じ光、同じ風、同じ自然

に巡り合うことはありません。毎日、かけがえのない瞬間に出会う喜びを、二太郎さんと佳代さんから気づかせてもらったように感じます。

それは『センス・オブ・ワンダー』の結び、——自然にふれるという終りのないよるこびは、大地と海と空、そこに棲む驚きに満ちた生命の輝きのもとに身をおくすべての人が手に入れられるもの——(P. 54より抜粋・要約)を思い起こさせます。

私にもそんな出会いが待っているかもしれないと思うと、窓を開けることも、玄関を開けて一歩を踏み出すことも、とても楽しいことになってくるのでした。



ネイチャーゲームは、1979年にアメリカのナチュラルリスト、ジョセフ・コーネルによって発表された活動です。登録アクティビティは180以上! 「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を使った自然遊びを通して、四季折々に子どもと大人と一緒に自然とふれあうことができます。

# 海を活かした 学びのSTEAM化に向けて

Science  
Technology  
Engineering  
Arts  
Mathematics



郡司 賀透

静岡大学大学院教育学領域准教授  
静岡大学STEAM教育研究所副所長  
静岡市環境教育推進会議議長  
ネイチャーゲームリーダー

茨城工業高等専門学校、長岡技術科学大学工学部卒業後、筑波大学大学院教育研究科修了。つくばエキスポセンター勤務。筑波大学大学院教育学研究科を経て、郡山女子大学短期大学部講師、准教授。保育者・子どもを対象にした自然活動を行う。2013年10月より現職。博士(教育学)(筑波大学)

「社会課題解決」を糸口に、「自然が好き」になる。静岡県の取り組みを通して、海をテーマにしたSTEAM型の学びの可能性を探ります。

## 1. 近くて遠くなってしまう海

日本財団が実施した「海と日本人に関する意識調査2024」の結果によれば、海が好きな人が年々減っているそうです。

それだけではありません。海洋問題の認知度や海を守る行動をした人の割合も低くなっているというのです。何をしたらよいかわからない、自分の生活と海のつながりを感じないのが理由とのこと。自分とのつながりがわからなければ、海のことを知りたいとは思いきいもの。また意外なことでも明らかに成りました。最も海への関心が高い世代は高校生であり、最も海へ行きたいと思っているのが小学生らしいのです。いわゆるデジタルネイティブ世代の関心が一番高い。しかも、関心の

ある海に関わりのあるプロジェクトとして、海上風力発電や無人運航船なども挙げられていました。発電や船舶といった「テクノロジ」への関心が高いのも特徴的ですね。

海洋教育にも、社会課題の解決をスタートにして自然を知り、好きになる、というSTEAM的な学びの可能性が生まれています。そこで今回は、わたしが暮らす静岡県を舞台とした、海を活かした学びのSTEAM化を紹介します。

## 2. 子どもとビーチコーミング

2021年、当時の静岡市環境局環境創造課とわたしの研究室が協働して、こども園で、先生たちのサポートを得ながら園児と一緒にビーチコーミングを行いました。このこども園は海のほど近くにあ



袖師浦(そでしのうら)のテトラポットのすき間を観察

り、海を活かした学びを続けてきました。サイエンスほけっと(静岡科学館・くくるのボランティアが立ち上げた団体)による駿河湾の話と海洋プラスチック問題の絵本の読み聞かせや、マイクロプラスチックを見つける実験も行いました。

## 3. 食べられない「未利用魚」を通した海の学び

また、近くの海に流れこむ庵原川の河口に興味を持ち始めた子どもがいたので、川の観察も行いました。子どもは、海と川の違いを、まずはつぎは熱海市の例です。熱海の海は相模灘といわれ、日本でとれる魚の種類の実に約3割(約1500種類)が獲れるそうです。熱海千魚ベースプロジェクトでは、お魚カードゲームなどを使って、「熱海の海ってどんな海? どうしてたくさんの魚が獲れるんだらう?」をテーマとした海を活かした学びを行っています。

このプロジェクトのユニークな点は、廃棄されてしまう「未利用魚」を使った商品開発を行っていることです。この未利用魚に関わる社会

最近、「学校ver3.0」という言葉を聞くようになりました。これからの学びは、大学、NPO、企業などが提供するさまざまなプログラムを選択しつつ、学校は実体験や他者との対話・協働をはじめ、多様な学習活動を公正に提供する役割が重視されるようになります。その学びとしてSTEAMが強調されつつあるのです。今回ご紹介した海を活かした学びは各機関・団体の強みを活かして展開されています。

## 5. 学校ver3.0と学びのSTEAM化

さて、わたしは静岡県に住んでいますが、茨城県の海のほど近いところで生まれ育ちました。なので海は好きなのですが、どうしても苦手で、意識があります。公害問題が激しい頃に近寄らないようにいわれたせいなのか、東日本大震災を郷里の海の近くで経験してしまったせいなのか……。

同じように、自然が好きなのに苦手な子どもがいるかもしれません。もしも社会課題の解決がスタートで



熱海千魚ベースプロジェクト制作のカードゲーム

課題の解決をSTEAM的な学びにすることができれば、子どもはエンジニアリングデザインプロセスにおいて魚の生態を知ったり、海洋の実態を知ったり、テクノロジを利用してしたりすることができそうです。しかも、子どもにとつてつながりが明らかにな「食」がテーマなので、今後の展開がとて楽しみみです。

## 4. 海洋ゴミからアクセサリづくり! アップサイクル

最後の例は焼津中央高等学校の取り組みです。同校では、SDGsの各テーマを選択して探究活動が行われています。

その一環として外部講師を招いて、地元石津浜海岸で大規模な海中・海浜掃除を行っています。

この活動のポイント、海洋ゴミをただ回収するのではなく、例えば、ルアーのアップサイクルを行い、文化祭、ネットショップ、地元の魚センター



回収された釣りゴミ



焼津中央高校の生徒の力作「令和の富嶽三十六景」

品を制作したのです。たくさんペットボトルキャップを使い、背景を砂嵐にすることで、「自然の崩壊・バグ」を、富士山を赤富士にすることで、「自然の怒り」を表現したそう

過去に掲載された「ネイチャーゲームxSTEAM教育」はこちらをご覧ください。



# 自然の紋

自然と作る私のマーク！



「自然の紋」の情報はこちら



エピソード  
「自然の紋」  
あるある



●イラスト/いのうえみさお



カラスノエンドウのくるくる巻ひげと小さい種が入っている実です(りかちゃん)

カラスノエンドウでこんなカッコイイ紋ができた！

おーっ!! ダイナミック!



潮溜まりの向こうは、ざぼんざぼんと小さな波が打ち寄せていました(メーオ)

田植えの終わった田んぼ。水面揺れ小さな早苗も揺れます(はらねえ)



筆を使って!!! 水も早苗も動いているみたい!

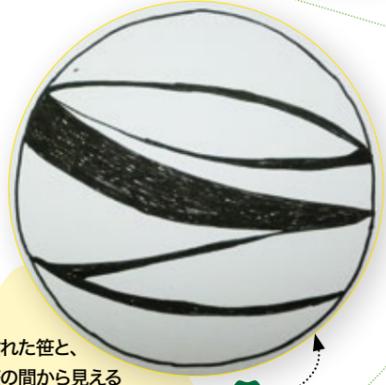
全国の仲間たちの作品をご紹介します!

## 「自然の紋」アートギャラリー

協力 シェアリングネイチャーピレッジ

人生初のコゴミ(クサソテツの若芽)摘みの備忘録。(いなちゃん)

日記代わりに自然の紋ってステキ!



枯れた笹と、笹の間から見える青空のコラボが素敵でした(なみさん)

わー! 笹の間を通る光が見える!



まだまだあります! ぜひご覧ください!

## 読者プレゼント!

# Present

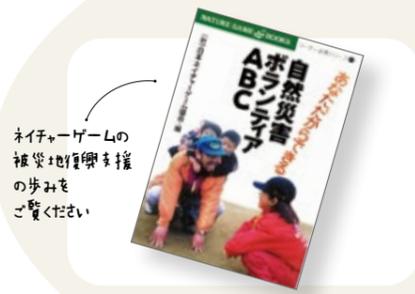
応募締め切り:2025年8月15日

アンケートに答えてシェアリングネイチャーグッズをゲットしよう!

アンケートは  
◆HPから <https://www.naturegame.or.jp/>  
◆メールでも [kawauso@naturegame.or.jp](mailto:kawauso@naturegame.or.jp)



メールの場合は下記をご記入ください  
【アンケート項目】  
1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(○/●/◎) 6. ご意見・ご要望 7. 本誌をどこで入手しましたか?



① 『あなただからできる自然災害ボランティアABC』 2名様  
被災地復興支援情報のコーナーで紹介した日本ネイチャーゲーム協会(当時)発行の、自然災害ボランティアの入門書。ボランティアの方々の声を集めて作った大切な一冊です。(1,540円税込/日本シェアリングネイチャー協会提供)



② 『ルピナス・ヴァレーへの道 夢をあきらめないで』 2名様  
「世界を美しくしたい」という書き出しではじまる森本佳代さんと二太郎さんの著書。進化の途中という「夢のルピナス・ヴァレー」を舞台に描かれる、家族の絆と庭作りの物語。(1,760円税込/日本キリスト教団出版局)



③ 着せ替え猫「あるき」と「すわり」3枚ずつセット 5名様  
人気の「着せ替え」シリーズの新モチーフは「猫」! 愛らしい猫の歩く姿と、佇む姿がくり抜かれた着せ替えカードです。いろいろな自然物に重ねてみてください。素敵な猫が現れますよ! (各319円税込/日本シェアリングネイチャー協会提供)

全国一斉シェアリングネイチャーの日

Sharing Nature. **10/19** (日)

2025年 今年のテーマ

# 小さな世界を 楽しもう!

キーワードは「足元」。  
日本でのネイチャーゲーム普及開始39年、  
「サンキューの年」に、地球への感謝を足元から。

**参加方法例**

- 1 自宅の近所や公園などの自然へ行く
- 2 足元の自然を楽しむ
- 3 SNS投稿などでシェアする

→ おすすめの  
アクティビティ  
情報もあります!

ぜひ来てね!

3日間  
2025. 8.29 (金), 30 (土), 31 (日)

29日開催の前夜祭、  
交流企画からスタート!

## 日本中の自然好きが集まって オンラインでいっぱい話して 大いに笑って楽しく学ぶ

ネイチャーゲームの仲間たちが作り合う、  
分科会スタイルの  
無料オンラインイベントです!

オンラインネイチャーゲーム、実践事例の共有、交流、学びの場などがあります。申し込みはセッションごとに直接お申し込みください。全セッション、参加費無料です。

現在、もりだくさんのテーマを準備中です。詳細・お申し込み方法はHPにてお知らせします。たくさんの方のご参加をお待ちしています!

シェアリングネイチャー☆まるしえ座長一同

静岡県  
浜松市

spot 3

### 浜松ひよっ子シェアリング ネイチャーの会

浜松市内で活動する地域の会です。主な活動場所は、「静岡県宮遠州灘海浜公園 (石人の星公園)」です。年間6回ほど、ネイチャーゲームを開催しています。都市公園ながら、いろいろな種類の樹木があり、緑に囲まれた環境下で自然の気づきをシェアしています。

広島県  
三次市

spot 4

### ほしはら山のがっこう

廃校となった山間の小さな木造校舎を一部改装した体験施設です。宿泊や日帰り利用、貸し切りも可能。体験プログラムも充実しており、施設隣の「ほしはらの森」でのネイチャーゲームや星空観察、キャンプファイヤーなど、対象に合わせてご案内しています。

大分県  
大分市

spot 5

### うりゅうじまシェアリング ネイチャーの会

毎月1回ビーチクリーンを実施しています。潮のかおりと海の音に包まれ、渚の生きものと触れ合うひと時。プラごみを拾って、ときどきネイチャーゲームも楽しみながら自然や環境を考えています。どなたでもフラっとご参加いただけます★

全国の  
ネイチャーゲーム  
スポット & 活用団体は  
こちらから

あなたの街の  
シェアリング  
ネイチャー組織

ネイチャーゲーム  
指導員が活躍  
する施設&団体

ネイチャーゲーム  
スポットに  
遊びたいこう!

spot 1 宮城県  
spot 2 栃木県  
spot 3 静岡県  
spot 4 広島県  
spot 5 大分県

宮城県  
栗原市

spot 1

### くりこま高原自然学校

東北・栗駒山の中腹で、シェアリングネイチャーな暮らしと、野外教育事業を行っています。子どもキャンプやネイチャーガイドなどでネイチャーゲームを活用しています。宿泊施設もあるので、お気軽にシェアリングネイチャーを楽しみにお越しください。

栃木県  
那須塩原市

spot 2

### 那須たんぽぽ村 キャンプ広場

広い空と広い原っぱが自慢のキャンプ場です。厳しいルールはないので、キャンプが初めての方でも安心して楽しむことができます。アウトドアをはじめ、教育や心理学の知識を持った管理者が在籍しています。一緒にネイチャーゲームを楽しんでみませんか。

第1回  
全国ネイチャーゲーム  
交流大会

in 秋田

日程 ●  
2025年11月2日(日)~3日(月祝)  
1泊2日

会場 ●  
秋田県立田沢湖スポーツセンター  
(秋田県仙北市)

温泉も  
楽しめます!

晩秋のブナの森と  
温泉パワーで  
リフレッシュ!

8月5日(火)  
12:00から  
受付開始!!

全国の都道府県シェアリングネイチャー協会が持ち回りをしながら開催してきた、全国ネイチャーゲーム研究大会が「全国ネイチャーゲーム交流大会」としてリニューアル!

2020年にコロナ禍で中止となった秋田県大会。秋田の仲間たちが、第1回交流大会を準備中! 乳頭温泉郷にて4つのワークショップコースを予定しています。

この秋、秋田に集い、地元ならではの自然を楽しみ、全国の仲間たちとの絆を深めましょう!

センス・オブ・ワンダー  
出版60年記念写真展

レイチェル・カーソンが親しんだメイン州の自然『センス・オブ・ワンダー』掲載写真ははじめ、本誌特集に登場いただいた森本二郎さん撮影の、レイチェル・カーソンが暮らした米国メイン州の自然の写真の数々を展示します。

期間: 2025年9月9日(火)~21日(日)  
会場: 新宿御苑アートギャラリー

期間中、新宿御苑にて下記イベントを開催予定です。最新情報はHPでお知らせします。

- 1 記念イベント『センス・オブ・ワンダーを語る』  
日程 ● 9月13日(土) 午後  
『センス・オブ・ワンダー』の翻訳者である上遠恵子さんと、写真家の森本二郎さん、映画『センス・オブ・ワンダー レイチェル・カーソンの贈りもの』の撮影監督である堀田泰寛さんの鼎談。映画の上映も予定しています。
- 2 ネイチャーゲーム 五感でひらく自然のとびら  
~こどももおとなも感じるセンス・オブ・ワンダー~  
日程 ● 9月15日(月祝) 午前  
対象 ● 親子
- 3 「植物のガラパゴス」と云われるアラビア海に浮かぶソコトラ島の自然  
日程 ● 9月20日(土) 午前
- 4 自然発見! 子ども探検隊  
日程 ● 9月20日(土) 午後  
対象 ● 親子

主催: レイチェル・カーソン日本協会  
共催: (公社) 日本環境教育フォーラム  
(公社) 日本シェアリングネイチャー協会

これからももっと、  
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。  
卓球の200倍もの重さがあるボールは、  
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。  
初対面でもあっという間に仲間になれる。  
競技人生での楽しさとは違う、  
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、  
すべての人のために、  
スポーツくじの収益は使われています。



スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

## Report

### 懐かしさがこみ上げた お二人の対談

Event Report 1



### 被災地 復興支援情報



上遠恵子さんと日置光久先生の対談をお聞きして  
2025年3月1日  
露木和男・神奈川県



上遠恵子さん 95歳！  
若々しく、お話も楽しく「セ  
ンス・オブ・ワンダーの心」のお  
話をお聞きしました。幼い頃の  
「ほろすけほろすけ」のお話は、セ  
ンス・オブ・ワンダーのつづきの象徴で  
す。

自然への驚き、感動の思い出は  
「生き方の足場」として、大きな  
働きをすることを暗示していま  
す。また日置先生は終始、上遠  
さんへの敬意が感じられ、温か  
な、そしてうれしい対談でした。

### 新緑薫る篠栗の自然を 仲間とわかちあい

Event Report 2

2025年5月4〜5日  
金子珠世・福岡県



福岡県立社会教育総合センターでのセミナーに参加。  
杉本崇トレーナーの元、初日のフォローアップセミナー  
で多彩なアクティビティやシェアリングネイチャー  
ルネスに加え、ナイトプロ  
グラムも体験しました。  
翌日のアクティビティセ  
ミナーでは、子どもたちも  
参加してパワーアップし、  
近隣の神社まで足を延ばす  
など計14の活動もアツとい  
う間に感じられる充実感！  
風薫る自然との一体感を共  
有できた2日間でした。

### 『あなただからできる 自然災害ボランティアABC』

阪神・淡路大震災を機にスタートした組織的  
な義援活動から、私たちができることをまと  
めて発刊し、20年が経ちました。

この間、災害対策・復興支援のあり方は進化し、  
一部古くなった情報もありますが、本書が「わ  
たしだからできる。ボランティア活動がある」と  
一人ひとりが気づいて、行動を  
起こすきっかけとなれば幸いです。  
ぜひ一読ください。



※P.11で読者プレゼント

## News

### 2025年助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。

- 令和7年度スポーツ振興くじ助成事業
  - ◆ネイチャーゲーム情報提供事業  
(本誌を含むチラシ・パンフレット作成、及  
び情報提供)

### 2025年度永年会員情報

当協会では、会員を永年続けてこられた方を表彰  
しています。  
2025年度は

|                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |
| 10年会員<br>150名                                                                         | 20年会員<br>176名                                                                         | 30年会員<br>90名                                                                          |

が誕生しました。6月に「記念バッチ」をお送り  
しました。

### 専門委員会報告

- 安全対策委員会…2025年3月27日(木)
  - ◆2024年度リスクマネジメント報告
  - ◆2024年度ヒヤリハット報告共有
  - ◆2025年度安全への取り組み検討

### ■アクティビティ開発認定委員会

- …2025年2月25日(火)
  - ◆第3次審査
- 指導者養成委員会…2024年11月27日(水)
  - ◆ネイチャーゲーム指導員情報の検討
  - ◆フォローアップセミナー 2025の検討
  - ◆トレーナー研修講座2025の検討
  - ◆ガイド制度についての検討 他
- 指導者養成委員会…2025年2月6日(木)
  - ◆SNMookトビックス2の検討
  - ◆講座講師認定講座カリキュラムの検討
  - ◆リーダーハンドブック理論編の改訂に向けた  
進捗状況の共有
  - ◆SN☆まるしえについて
  - ◆全国交流大会の準備状況の共有 他

### 安全のクローバー月間

シェアリングネイチャー活動の安全対策を充実  
させ、イベント等での事故ゼロを目指す安全月  
間です。詳細はHPまで。  
●期間：2025年10月



### シェアリングネイチャー フォトコンテスト

ネイチャーゲームを体験している子どもや大人の  
様子を撮影した写真のコンテスト  
を実施します！第2回フォトコン  
テスト応募締切は2026年1月  
15日(木)。詳細はHPまで。



### ガイドライン(私たちの7つの約束)

「子どもの心と身体を守る6項目：  
チャイルドプロテクション6」をは  
じめとする「7つの約束」を公開  
し、取り組んでいます。詳細は  
HPまで。



### 白梅学園大学・白梅学園短期大学 との連携協定を締結

2025年6月12日(木)、白梅学園大学・白梅学  
園短期大学と「環境教育推進のための連携に関す  
る協定」を締結しました。この協定を通じて、乳  
幼児期からの環境教育推進のた  
めのカリキュラムや実践的な学び  
の機会づくり、次世代の人材育成  
に向けて連携を展開していきます。



# シェアリングネイチャー フォトコンテスト

# 2024

受賞作品  
発表

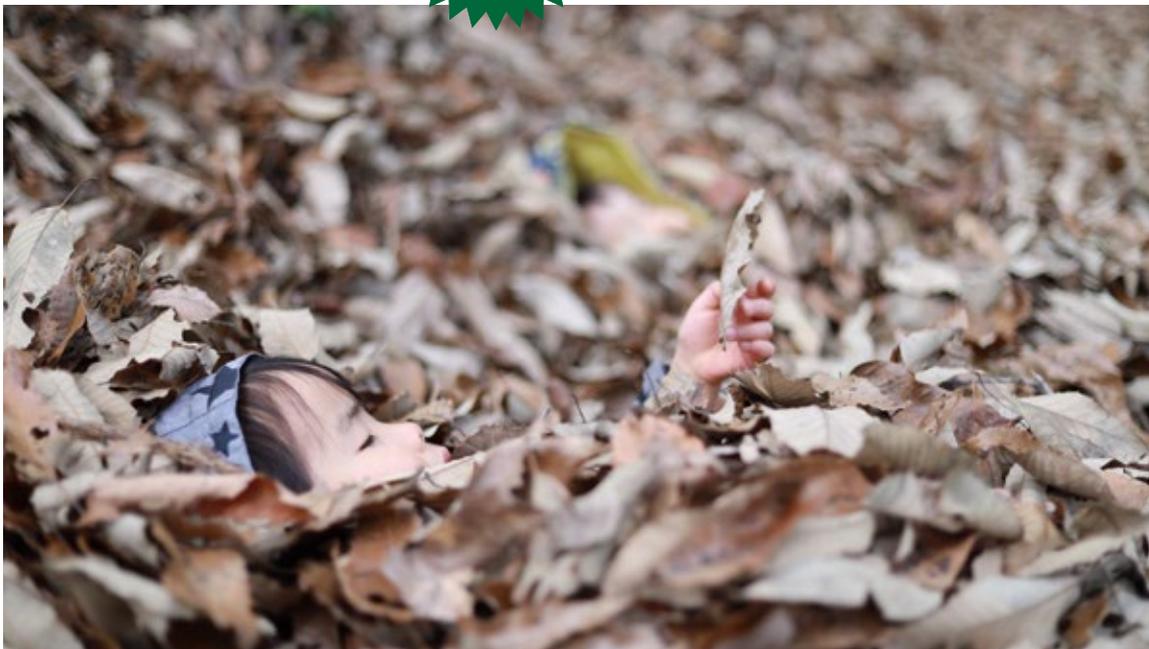
## 〈大地の窓〉

勝間光洋

木の葉の中で、  
葉っぱを見るのも楽しいね。



たくさんのご応募ありがとうございました！  
ご応募いただいた写真は、  
シェアリングネイチャーの普及に  
活用させていただきます。



イノッチ



たまはん



ながすー  
(永末透威)

## その他の 受賞作品と 受賞者名

その他の受賞作品・  
応募作品は  
こちらから↓



- [いい笑顔で賞] おかん
- [いい笑顔で賞] 勝間光洋
- [いい笑顔で賞] 山口県シェアリングネイチャー協会
- [いい笑顔で賞] りんりん
- [一生懸命で賞] 倉敷市自然の家
- [シェアリングネイチャーデビュー賞] とよちゃん
- [ファミリー賞] 宇部シェアリングネイチャーの会
- [ほのぼの賞] 宇部シェアリングネイチャーの会
- [夢中になってるで賞] 勝間光洋
- [よく見つけたで賞] ながすー (永末透威)

シェアリングネイチャー  
フォトコンテスト

# 2025

## 作品大募集！

皆さまからのご応募をお待ちしております！  
応募締め切り:2026年1月15日(木)



詳細はこちらから→

シェアリングネイチャーライフ Vol.45 通巻 126 号

発行日 2025年7月15日

発行人 日置光久

発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-13-17

ワークスナカノ2階

Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013

メール jimukyoku@naturegame.or.jp

編集: 藤田航平・新名直子・豊国光菜子・去田ゆかり、校條 真

デザイン・DTP: 花平和子

表紙イラスト: 矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

## 編集後記

「素敵な仲間を紹介したい!」という思いを詰め込み、編集を担当して10号目。毎号好評をいただき嬉しいです! 次号から編集長交代となります。どうぞ引き続きご最良に〜(藤田)

設置店募集!

ご連絡ください!

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています